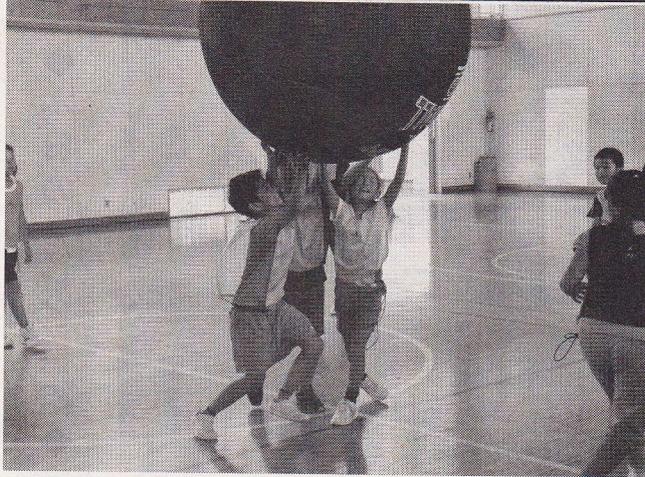


ニユースポーツで協調高め

キーン 盛岡と宮古の児童が交流



自分の背丈ほどあるボールを落とさないように協力する子どもたち

盛岡市で活動するコ
ミスポクラブ東厨川
(中村靖夫代表)と、
宮古市で活動するシー
アリーナスポーツクラ
ブ(代表・駒井吉井宮
古市体育協会長)の子
どもたち合わせて約50
人が8日、盛岡市前九
年の厨川活動センター

1キ。攻撃側は守備チ
ームの一方を指名し、
ボールをはじく(ヒッ
ト)。指名されたチーム
はボールが地面に落ち
る前に協力して捕球
(レシーブ)する。ボ
ールを落とす場合、
攻撃チームとプレーに
参加しなかったチーム
に1ポイントが与えら
れる。制限時間内に最
もポイントの多かった
チームが勝者となる。

県キーンポールのスポ
ーツ連盟の伊東まき副会
長は、全身の筋肉をバ
ランスよく使う上に、
協調性などを高めるこ
とができると競技の特
徴を話す。実際に体験
した子どもたちは、力
強くボールをヒットし
たり、数人で協力して
レシーブしたり、競技
の魅力を体感した。宮
古市から参加した金澤
理乃さん(宮古市立山

口小4年)は「初めて
やったけど、すごく楽
しかった。試合をやる
のが一番面白い。宮古
に戻ってもやってみた
いし、うまくなったら
大会とかにも出てみた
い」と話していた。

今月盛岡市内で全国
大会が行われるなど、
競技人口が増えつつあ
るキーンボール。コミス
ポクラブ東厨川の子ど
もたちもチームを組ん
で大会に出場する。齊
藤彩花さん(厨川小5
年)は「2カ月くらい
練習を積んできた。キ
ーンボールは点を取つた
時、みんな嬉べるの
がいいところ。大会で
は決勝に進めるよう、
全力で頑張りたい」と
意気込んだ。